

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	和歌山YMCA シードクラブ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 8日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2026年 1月 8日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置数は、こどもの人数に対して基準よりも多く配置し、連携しながらこどもの支援を行っています。	個別や少人数制でこどもの個々のニーズや特性に合わせた療育ができるように、配置基準よりも多くの職員が関り一人ひとりの姿を共有しながら連携して支援しています。	こどもの発達や特性を理解し、こどもに寄り添った支援が行えるように、職員間で情報共有を行い連携しながらより一層質の高い支援を充実させていきます。
2	こどもが安心して楽しく通えるように、こども一人ひとりに寄り添ったプログラム内容を考え提供しています。	安心して楽しく通ってもらえるように、楽しい雰囲気づくりを大切にしています。またこどもの発達・特性・興味に合わせ一人ひとりに寄り添った支援を行い、楽しい！を感じてもらえるようにプログラムを工夫しています。	こどもの思いやペースに寄り添いながら、やってみたい、楽しい、できたという喜びを味わい自信や成功体験に繋がるように関わっていきます。
3	こども保護者への共感的な関りや支援を行い、安心して通ってもらえるように心がけています。	こども保護者が安心して通ってもらえるように、共感的な関りや支援を心がけています。またこどもの様子を伝えたり、相談に乗ったりして情報共有をし丁寧な関りを心がけています。	今後も思いや不安に寄り添い共感的な支援や関りを行い安心して通所してもらえるように努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定子ども園、幼稚園との交流や、その他の地域で他の子どもと活動する機会があるかについて、わからないやいいえの回答があり、事前の周知が足りていなかったと思います。	YMCAのイベント等で他の子どもたちと関わる機会はありませんでしたが、保護者への周知が足りていなかったと思います。	YMCAでのイベント情報や活動内容を伝えるなど、今後はより一層、周知を強化し交流の機会を作っていききたいと思います。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているかについてわからないの回答がありました。	相談があれば随時実施していますが、家族が集まる機会が少なく研修会等の実施に繋がりませんでした。	今後は保護者のニーズに合わせた家族プログラムや研修会、家族会等を検討したいと思います。
3	父母の会や保護者会開催、保護者やきょうだい同士の交流、支援が行われているかについてわからないの回答があり、周知の仕方を工夫する必要があると思いました。	今年度は家族会を行い、保護者同士の交流を行いました。事前告知や周知が足りていなかったと思います。	今後はより一層周知を強化し、開催日時やイベント内容等を工夫しながら交流の機会を作っていききたいと思います。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 和歌山YMCA シードクラブ

公表日 2026年3月31日

利用児童数 2026年1月31日 22人

回収数 19

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19				・体育館を借りて活動するときに特に楽しい ようです。	今後も子どもたちがのびのびと体を動かし、普段の 活動では得られない体験ができるようにプログラム を工夫していきたいと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19				・手厚く子どもを見てくれているので安心し ている。	今後も子どもに寄り添った支援が行えるように配置 基準よりも職員を多く配置し、安心して通って もらえるように対応していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報 伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	2		2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	19					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が 受けられていると思いますか。	18	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っ ていると思いますか。	17	1		1	・都度子どもが必要としている支援をして くれている。	今後も子どもの発達や特性を理解し、一人ひとりに 合わせた支援内容が提供できるように励んでいきま す。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析 された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	18	1				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供 すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内 容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支 援内容が設定されていると思いますか。	15	3		1	・職員の方に相談させていただき、子どもが 克服しようとしている事や、その時々課題 にも対応してくれている。	今後も保護者の方の思いに寄り添い、いつでも相談 しやすい関係づくりを大切にしていきたいと思 います。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	3				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	16	2		1	・家では体験させてあげられないようなプロ グラムもあり、毎回楽しく通うことができ ている。	年間を通して様々なプログラムを取り入れ、子ども たちが楽しく活動に参加できるように工夫していま す。
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活 動する機会がありますか。	8	1	5	5	・通常のプログラムではないと思うが、 YMCA祭り等、他のイベントへ参加すれば、 その様な機会があるのかもしれない	YMCA全体の行事を通して地域の子どもと関わる機 会を作っています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について 丁寧な説明がありましたか。	19					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1	1	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	5		2		今年度は2月に家族会を実施いたしました。 相談等があれば随時実施しております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況につ いて共通理解ができていると思いますか。	16	3			・連絡ノート等がない為、活動内容がよく分 からない。	日々の活動の様子が伝わるように送迎時や連絡等で 情報共有する機会を増やし、保護者の皆さまに安心 していただけるように努めてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	2		3	・日々感じる困難や不安な事を聞いてもらい、アド バイスを買えたり、共感してもらえることで気持ち が落ち着き前向きになれている。	今後も保護者の方の思いに寄り添い、いつでも相談 しやすい関係づくりを大切にしていきたいと思 います。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	1			・とても丁寧に対応してくださっており、本 人もYMCAに行くのが楽しいようです。	今後も共感的な関りを大切し、YMCAが安心して楽 しく過ごせる場所となるように励んでいきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の 機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向 けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるな ど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	5		3		年度末に家族参加のイベントを開催しています。保 護者交流やきょうだいも参加して楽しめるイベン トを企画しています。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されていると ともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説 明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	3		2	・園での活動の困りごとをシードでも共有し て少人数での活動に組み入れてくれているの がありがたい。	今後も相談しやすい環境を作り、相談や申し入れに 迅速に対応できるように努めていきます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思 いますか。	18	1				
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等 の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されて いますか。	17			2			

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1		3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1		7	各種災害に備えを定期的に訓練を実施しています。また日常のプログラムでも災害時の対応について子どもたちに伝えています。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			4		
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	1			<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの先生が笑顔で声を掛けてくれることで安心して落ち着いて参加出来ている。 ・リーダー達が大好きです 	嬉しいお言葉をありがとうございます。今後もこどもたちにとってYMCAが楽しく安心して過ごせる場所になるように、職員一同心を込めて支援していきます。
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	2			<ul style="list-style-type: none"> ・小学生のお兄ちゃんたちに混ざって過ごす中で集団への参加や関わりが向上している。 ・色々な事を楽しみにしている ・とても楽しみにしている ・週に一度の利用を毎度、楽しみに参加しています。好きな活動を集中して取り組めている事を嬉しく思います。 	子どもたちが楽しく通ってくれていることを大変嬉しく思います。今後もYMCAに来ることが楽しみになるように励んでいきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状態や状況に応じて臨機応変に対応して頂けている。 ・通所したことで出来ることが増えてきた。しりとりができるようになった。 ・とても満足している ・園では難しい少人数での活動を通して集団へのステップにつながる支援をしていただいているのがありがたい。 	保護者の方々の嬉しい言葉が職員の励みになります。今後も安心して通っていただけるようお子さま保護者の皆様に寄り添った支援を心がけていきます。たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		和歌山YMCA シードクラブ		公表日 2026年 3月 31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎週会議を開催し職員の建設的な意見を取り入れ業務改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		現在、第三者による外部評価は行っていませんが、今後は検討しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルに沿って定期的に訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		利用前には服薬・てんかん等の聞き取りを行った上で利用していただいています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			現在、身体拘束を必要とする児童の利用はありません。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	和歌山YMCA シードクラブ		
○保護者評価実施期間	2026年1月8日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	70	(回答者数) 58
○従業者評価実施期間	2026年1月8日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもや保護者に寄り添いながら共感的な支援を行い、安心して通所してもらえるように心がけています。	職員間で子どもの様子や関わり方を共有し、子どもの言葉や背景にある気持ちを受け止め肯定的な関りを心がけています。保護者の思いや不安にも丁寧に耳を傾け思いに寄り添った支援を行っています。	今後も子どもの思いに寄り添った支援や保護者の思いや不安に丁寧に耳を傾ける支援を行い、安心して相談できる関係づくりを大切にしていきたいと思います。
2	日頃から子どもの健康や発達の状況をこまめに伝え合い、共通理解しながら支援を行っています。	日々の様子や成長・変化を伝え合い、情報共有して安心して通ってもらえるように支援しています。	今後も保護者との情報共有を密にして、家庭と連携した支援ができるように取り組んでいきます。
3	楽しく通ってもらえるように、支援プログラム(運動やクラブ・クッキング・外出活動等)の内容を工夫しています。	子どもの興味や関心、季節に合わせたイベントなどを取り入れ5領域を意識しながらバランスよくプログラムを組み立てています。	子どもの発達や特性を理解し、より充実したプログラムを取り入れ、子どもたちが楽しみながら様々なスキルを習得できるように取り組んでいきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるかについて、はい以外の回答が多く情報提供方法に改善が必要だと思いました。	和歌山YMCAのイベント等で他の子どもと活動する機会はありましたが、保護者への周知が足りなかったと思いました。	今後イベント等の情報提供を行い、より一層保護者への周知を行っていききたいと思います。
2	父母の会や保護者会開催、保護者やきょうだい同士の交流、支援が行われているかについてわからないの回答があり、周知の仕方を工夫する必要があると思いました。	今年度は家族会を行い、保護者同士の交流を行いました。周知が足りていなかったと思います。	今後はより一層周知を強化し、開催日時やイベント内容等を工夫しながら交流の機会を作っていききたいと思います。
3	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているかわからないという回答があり、周知不足な点がありました。	毎年定期的に避難訓練を行っています。避難訓練開催日に利用していない子どもにも日常の中で災害について伝えたり、保護者にもおたより等でらせていますがもう少し強化して伝える必要があると思いました。	今後、避難訓練実施の情報提供を強化していきたいです。また避難訓練に参加できなかったお子さんも日常のプログラムで防災について学ぶ機会を作り、その内容を保護者にも伝えるなど事業所全体で防災への意識を高めていきたいです。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 和歌山YMCA シードクラブ

公表日 2026年3月31日

利用児童数 2026年1月31日 70人

回収数 58

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	54	1	1	2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	55	1		2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	51	1		6		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	54	2		2	・ホールに土足で入っているのが気になる	基本はホール用シューズに履き替えています。土足の場合は、くつの汚れを落としてから入るようにし、ホール内も清潔に保ち気持ちよく過ごせるように心がけています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	53	2		3		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	56			2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	51	2		5		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	55			3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	56	1		1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	54	2		2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	30	6	3	19		和歌山YMCAの行事を通じて地域の子ども関わる機会を作っています。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	58					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	53	1		4		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	48	1		9		今年度は2月に家族会を実施しました。相談があれば随時実施しております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	56			2		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	49	3	4	2	・いつもこまめに子どもの様子を電話で教えてくれるので感謝している。	今後も日々の様子をこまめに伝え合い、保護者の皆さまとお子さまの成長や変化を共有していきたいと思います。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	58					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	40	2		16	・不定期でも良いので季節に応じたサタデークラブを再開して欲しい ・兄弟向けのイベントに参加したことがないのでどちらともいえない。	今年度は2月に家族会を実施しました。今度、保護者やきょうだいも交流できるイベントの開催を検討していきます。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	52	1	1	4		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	50					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	49	2		7		毎月シードだよりにて行事・活動の様子等を発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	55	2		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	48	3		7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	44	1		13		各種災害に備えを定期的に訓練を実施しています。また日常のプログラムでも災害時の対応について子どもたちに伝えています。□
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	43	2		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	53	3		2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	57	1				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	55	3			・いつも嬉しそうに通所するので安心している ・人数が多すぎると言っている	今後もYMCAに来ることが楽しみになるように励んでいきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	58				・SCTのおかげで体力がついてきているように思う。	今後も安心して通っていただけるようにお子様保護者の皆さまに寄り添った支援を心がけていきます。 嬉しいお言葉や貴重なご意見ありがとうございました。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		和歌山YMCA シードクラブ					公表日	2026年 3月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>			現在、第三者による外部評価は行っていませんが、今後は検討しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>					
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>					

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		月1回シードだよりにて情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルに沿って定期的に訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		利用前には服薬・てんかん等の聞き取りを行った上で利用していただいています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			現在、身体拘束を必要とする児童の利用はありません。	